ホタル

学校だより　No.５
令和２年　９月号
いちき串木野市立
荒川小学校

お手伝いがもたらす効果

校長　中別府久人

今月台風10号が九州に接近したが，荒川小の児童や荒川地区は大きな被害もなく良かった。

この台風は，これまでに経験したことのない大型の台風と報道されていたため，台風前に，別府の実家に帰り，台風対策をした。台風対策といっても主に雨戸を閉めただけであるが。普段使わない実家のこの雨戸は台風が接近した際だけに使うため，ガタガタ音を立て，スムーズに閉めることができない。汗を流し，悪戦苦闘してやっとこの雨戸を閉めることができた。

この雨戸を閉めながら，小中学生のころ雨戸閉めが私の毎日夕方の手伝いだったことを思い出した。私が高校のころ実家がリフォームした時に雨戸からサッシにようやく変わり，雨戸を閉めるという手伝いから解放された。小学生のころは腕力が弱く，木の雨戸が重くて，戸袋から出すのも一苦労した。また，時には雨戸が溝にうまく入らず，閉めづらく，うまく滑らずで，押したり，引いたりしてもビクとも動かなかったりして，途中で嫌になり，この手伝いは好きではなかった。しかし，親は畑作業や豚を生産，生育させるなど遅くまで働いていたため雨戸しめぐらいは手伝わないといけないと思っていたためか，雨戸閉めと風呂たきの手伝いは何とか続けることができた。

さて，荒川の子どもたちは家庭でお手伝いをしている。

ある記事にお手伝いの効果について書かれてあったので紹介したい。

【お手伝いがもたらす効果】

1　「時間の感覚」を身につけられる

生活習慣が身についている子どもほど学力が高い，というデータもある。「お手伝い」は「時間の感覚」を身につけさせ，「時間の感覚」が「生活習慣」を身につけさせ，「生活習慣」が「高い学力」をもたらす。

つまり，「コミュニケーションスキル」や「問題解決スキル」といった『生きる力』が身についているのです。

2　子どもの自己肯定感を高める

掃除や片づけは，どうしても大人がパッとやってしまいがちです。ではなぜ子どもに掃除させようとするともたついてしまうのでしょうか？

それはきっと「道具」が合っていないのかもしれません。「ピースボード子どもの家」代表の小野寺さんは，娘さんが２歳のときに「子どもの小さな手でも使いやすいように」とモンテッソーリ園にあったものを真似て小さなミトン型のふきんを作ったそうです。すると，手を入れてしっかりと拭けるようになったとのこと。また，そのふきんをしまいこまずに，子どもの手が届く『いつもの場所』に置くことがポイントだと言います。（中略）それからは，たとえば牛乳をこぼしても，子どもを叱ったり責めたりせず，『あのふきんで拭こうよ！』と前向きなことばをかけられるようになったこともよかったです。まずは，子どもの手に馴染む道具を用意してあげましょう。そして，いつでも取り出せる場所に置くだけで，「汚したら自分できれいにする」習慣が身につきます。また，「片づけは食事や掃除と同様に大人になってもやるべき当たり前のこと」と述べます。きれいに片づくと，周囲が「気持ち良い」と感じ，自分の行為が「役立った」という感覚が生まれるそう。そのとき『できた！』という自己肯定感が育つのです。「収納を工夫することで想像力が養われ，元の場所に戻すことで習慣力もついてきます。整理整頓の習慣がしっかりと身についていれば，自然と学習環境を整えるという動作にもつながっていきます。効率よく学習に取り組むためにも，まずは机周りやお部屋の環境を整えるクセをつけたいものです。

また，夏休みの本校児童作文にも，次のようなものがあった。

「私がやる」　6年　大庭　雫

お姉ちゃんが入院することになった。（中略）

お母さんは昼間仕事をしてそのあと，病院に行き，家事をしなければならなくなり，帰りがおそくなる。「これじゃあ，お母さんが大変。お母さんが楽になるように私が家事をやる」と決めた。次の日から私は洗たく物，茶わん洗いなどした。お母さんが病院から帰ってくると，「全部してくれたの，ありがとう」と言ってくれた」そのときのお母さんの喜んでいる顔を見るとうれしくなり，続けていこうと改めて思った。私にもお姉ちゃんのように家事ができると自信もついてきた。お姉ちゃんが退院する日が来た。お姉ちゃんに「家事はできたの」と聞かれたので，「うん，できたよ」とほこらしげに言うことができた。

これからも各家庭では，簡単な手伝いでも良い。子どものお手伝いに関してはねぎらいの言葉をかけていただき，子ども自身が，自分は家庭で役に立っているんだという，自己有用感を高めていってほしい。

運動会に向けて，子どもたちは２学期に入り紅白に分かれ始業前に応援の練習やリレーの練習を行っている。紅白の団長，坂元新さん，田中辰仁さんを中心に高学年がしっかり下学年をリードしてくれている。自分たちで練習メニューを考えて実践している姿から，本校の学校教育目標である「自分で考え，行動できる子」に近づいていることがうれしい。

今年度の運動会は，午前中のみの開催ですが，保護者のみなさまにおかれましては，運動会において子どもたちのがんばりにご声援を賜りますようお願いいたします。

愛校作業・リサイクル活動の御協力ありがとうございました

８月３０日の愛校作業の御協力ありがとうございました。皆様の御協力のおかげで普段手がいき届かない箇所まできれいにすることができました。また，愛校作業終了後は，６名のお父さん方が遊具のペンキ塗りをしてくださりました。気持ちを新たに２学期も頑張っていきます。次回は，１月１７日（日）にリサイクル活動のみの実施を計画しています。引き続き御協力をよろしくお願いします。

夏休みの作品入賞　おめでとう！！

（敬称略）

「県作文コンクール」市審査

◇　特　選　山下　愛心（３年）「お姉ちゃんに負けないぞ」

「社会科自由研究」

◇　最優秀賞　山下　愛心（３年）「はじめてのおつかい大作戦」
⇒県審査へ

◇　特　選　上園　琴音（６年）「あなたはどっち？縄文派？弥生派？」

おつかい大作戦

荒川小３年　山下　愛心

新がたコロナのため、楽しみにしていたいろいろな行事が中止になりました。心が暗くなっていましたが気持ちをきりかえ、「おつかい大作戦」を実行することにしました。

電車に乗って、おばあちゃんの家に手作りおかしをもって行く作戦です。おばあちゃんの家の近くの駅からの地図を作ったり、おみやげのかばちゃケーキを作ったりしました。じゅんびははっちりです。

作戦当日はボディーガードにお姉ちゃん、そして数m後ろをお父さんがついてきてくれました。２人は何もおしえてくれません。不安でしたが、見なれた道が見えたときはほっとしました。またがんばる力がわいてきました。

げんかんでおばあちゃんが、にこにこしてわたしを待っていてくれました。夏休み一番の楽しい思い出になりました。　（いちき串木野市）

R2.9.15 南日本新聞　若い目　掲載

＜９・１０月の予定＞

９月		１０月			
20 日（日）	荒川小秋季大運動会	1 日（木）	身体測定・視力検査	23 日（金）	川上小研究公開
21 日（月）	運動会予備日		就学時健康診断	24 日（土）	チャレンジ教室
	敬老の日＜祝＞	7 日（水）	一日体験入学（稲刈り）	26 日（月）	ふるさと美化活動
22 日（火）	秋分の日＜祝＞	10 日（土）	原子力引き渡し訓練	29 日（木）	市陸上記録会【中止】
23 日（水）	親子読書の日	14 日（水）	市家庭教育学級全体研修会	31 日（土）	地かえて祭り【中止】
25 日（金）	振替休日（運動会）	16 日（金）	3，4 年市内巡り		
			1，2 年乗り物学習		